

第11回 京都現代経済学ゼミナール募集要項

申し込みは、「申込書」に必要事項を記入し受講料をそえて申し込んでください。
FAXでも申し込み出来ます（受講料は第1講義日をお願いします）。

募集の定員は、60名です。（定員になり次第〳切ります）

講義時間は、午後1時～5時（休憩も含まます）

受講料は、11,000円（税込み）です。

参考文献の注文の方は、申し込み用紙にチェックを

『京都学習会館』（上京区堀川丸太町西一筋目上ル）です。

電話（075）841-8141 FAX（075）821-3665

自転車・バイク・自動車の駐車場は
ありません。二条城市営駐車場へお願
いします。（自転車は会館の周りは住宅街で
すので止めることは出来ません）

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から
『京都学習会館』まで歩いて10分以
内です。



Kyoto Contemporary Economics Seminar vol. 11

第11回京都現代経済学ゼミナール
Coordinator 芦田文夫・立命館大学名誉教授



世界の構造変化をとらえる 第6弾!!

経済危機後の 世界をとらえる

申込先は...京都労働者学習協議会
電話（075）841-8141 FAX（075）821-3665

第11回京都現代経済学ゼミナール申込書	申込み日時	年	月	日
フリガナ:		性別	年齢	
氏名:		男・女	才	
現住所:				
職場・学園:				
労働組合名:	(全国単産名:)			
電話: 職場 ()	自宅 ()			

100年に一度の経済危機は世界をどのように変えたか

芦田 文夫・立命館大学名誉教授

2008・09年の世界金融・経済危機から4年以上経って、いま資本主義世界はどのような局面にあるのか、依然低迷を脱しきれないなか、どのような矛盾を構造的に蓄積しつつあるのか。2008年から始まった京都学習協の「世界の構造変化を問う」シリーズ、今年度は「100年に一度」といわれたこの経済危機が世界資本主義の構造をどう変化させつつあるのか、それを深く掘り下げて考えていきたいと企画しました。

資本主義諸国はどこでも、「異常な財政・金融」による資金投入で辛うじて小康をたもったものの、視界はゼロ、長期停滞傾向は避けられないと予測されています。そして、その財政・金融政策も限界をむかえ、悪い副作用が出始めていると危惧されています。EUでは、金融危機が財政危機に転化、「ソブリン(国家債務)」危機が南欧に次々と波及しています。通貨と金融政策は統合化されたのに、財政は各国に分権化されているという構造的な矛盾、これをどう乗り切っていくのか。地域グループ(西欧と北欧、中欧とイギリス、バルトとバルカン)の格差問題が浮上、EU解体・離脱か統合の質的高度化かの岐路に立たされています。アメリカでも、实体经济の未回復のまま、2012年末のような「財政の崖」問題に追い詰められています。

そのなかで、労働者や国民の生活と労働、生存の根元を襲うようになった危機に対する闘いが、新たな高揚を見せつつあるのが「世界史的な転換期」と言われる現在の特徴でしょう。EUはこれまで「人権、生活や労働、環境に関わるルール」の高い水準を評価されてきました。いま「緊縮財政」でこれらへの削減攻勢が激しくなり、数十万の国民的反撃が繰り返され、政権交代が続出しています。アメリカでも、「二重賃金制」と賃金低下、低福祉、労働組合組織率の減少と労働運動の低迷と後退のなかで、かつての中産階級に基盤を置く「アメリカ型企業社会」が解体しつつあると言われていています。多国籍企業の資本が世界中を侵蝕していく状況下、それが人間の生存の根元を

襲うようになっている姿の典型は世界の食糧危機の構造にみられるものでしょう。日本のTPPをめぐる問題もこのような大きな視点で捉えていきたいものです。

資本の新自由主義的な世界的動きの新たな段階で、それが生み出す構造的な矛盾に楔を打ち込み、人間の労働と生活、尊厳を守ろうとする闘いが、どのような「オルターナティブ(対案)」をもって先進国でも新興国でも展開されつつあるのだろうか、それも注意して検出していきたいと思います。前5回と同様、第一線で研究を展開されている専門家を招き、それぞれ月一回の半日をかけ、詳しい資料にもとづき、じっくり講義と討論によって深めてみようではありませんか。

100年に一度の経済危機は世界をどのように変えたか 第11回現代経済学ゼミナール

4月21日(日曜日) 講師: 友寄 英隆・経済研究者

第1講義 世界資本主義の現局面をどうみるか

08/09年恐慌から4年後の世界

5月19日(日曜日) 講師: 田中 宏・立命館大学教授

第2講義 岐路にたつEU

危機からの脱出と新段階への飛躍は

6月16日(日曜日) 講師: 大塚 秀之・神戸市外国語大学名誉教授

第3講義 解体に向かうアメリカ型企業社会

低賃金・低福祉・組合不在の行方は

7月21日(日曜日) 講師: 中野 一新・京都大学名誉教授

第4講義 世界の食糧危機の構造

多国籍アグリビジネスの戦略

8月18日(日曜日) 講師: 芦田 文夫・立命館大学名誉教授

第5講義 危機への「対案」

世界で広がる新たな模索